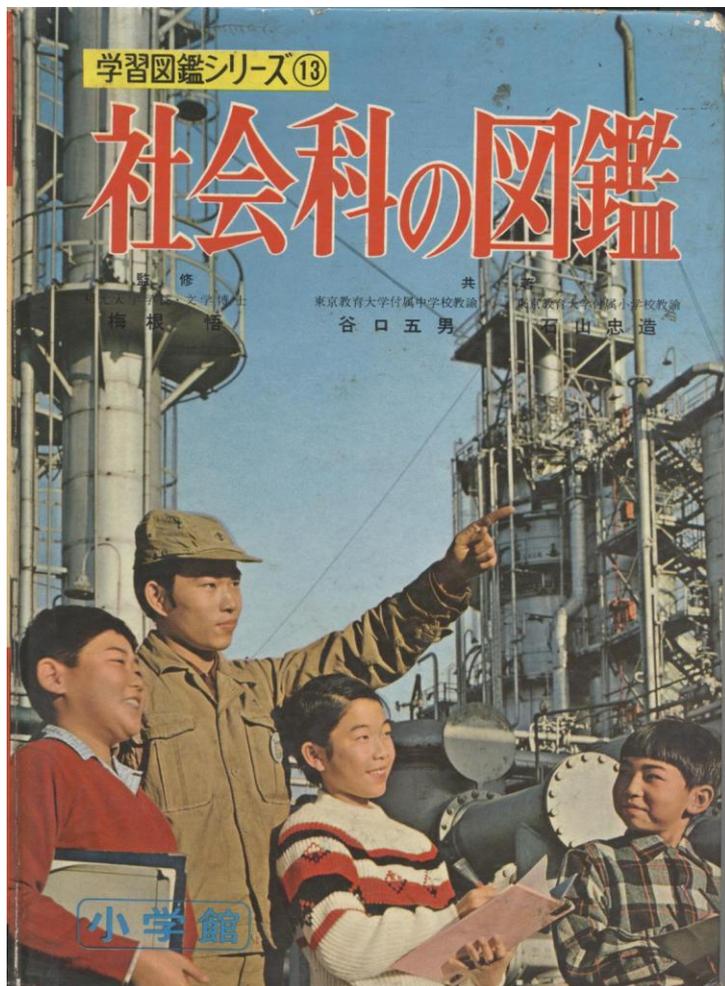


日本再生！ 総合特区～最初の一歩～



2010年10月23日(土)
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム

日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑



<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



- これが、藤原直哉の実家にあった、社会科の図鑑です。
私が小学校2年生だった昭和43年に購入したものです。初版は昭和33年です。
ちょうど**高度経済成長の頃の日本**の姿がよく表現されています。
この図鑑のなかのいくつかのページを見ながら考えていきます。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～





未来の都市

＜参考掲載資料＞

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
 日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：未来の都市

- これが今から**40年前に書かれた「未来の都市」**です。
なるほど、こんな感じになりました。
すばらしい想像力と言ってもよいですが、実際には、
40年前から具体的にこうしようという計画があり、技術の見とおしも、
大体ついていたのです。
だから、大体そうなったのです。

国民が総意として持つビジョンの力のすごさを実感します。

<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



わたしたちの生活は、古くからの暮らしを
継ぎながら進んでいきました。農耕をとおして、工
業をはじめ、いろいろな業が生まれました。やがて
文明開化の風が吹いて、暮らしも経済も文化
も進歩しました。今の暮らしの中にも、昔の
暮らしの姿が残っています。



<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- これは、原始時代から昭和の高度成長の頃までの、日本のくらしの歴史です。
- では、今の時代をひとつの絵にしたらどうなるでしょう？
- 次に、30年後の日本をひとつの絵にしたらどうなるでしょう？

<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～

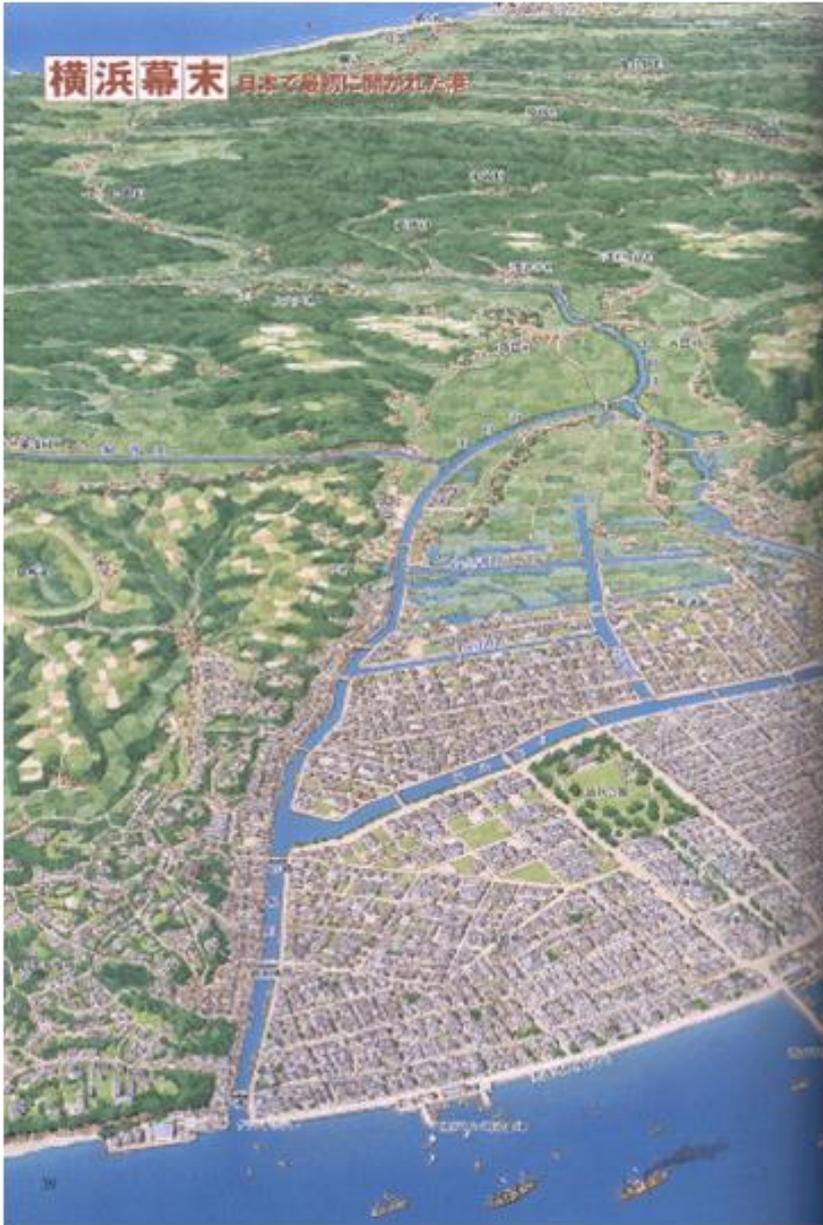


日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- 物質文明は極限まで行きついた。
- 物質の極限、カネをカネで買う。しかもそこに人は介在する必要がない。
- コンピュータが自動的にカネを売買してくれる。
- 極限まで行きついたら、次は**選択の時代**である。
- 歴史の**発展段階**が問題なのではない。
- 自らの理念に基づいて、**どれを選択するか、どう編集するか**が問題。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一歩～



日本再生の総合特区を考える

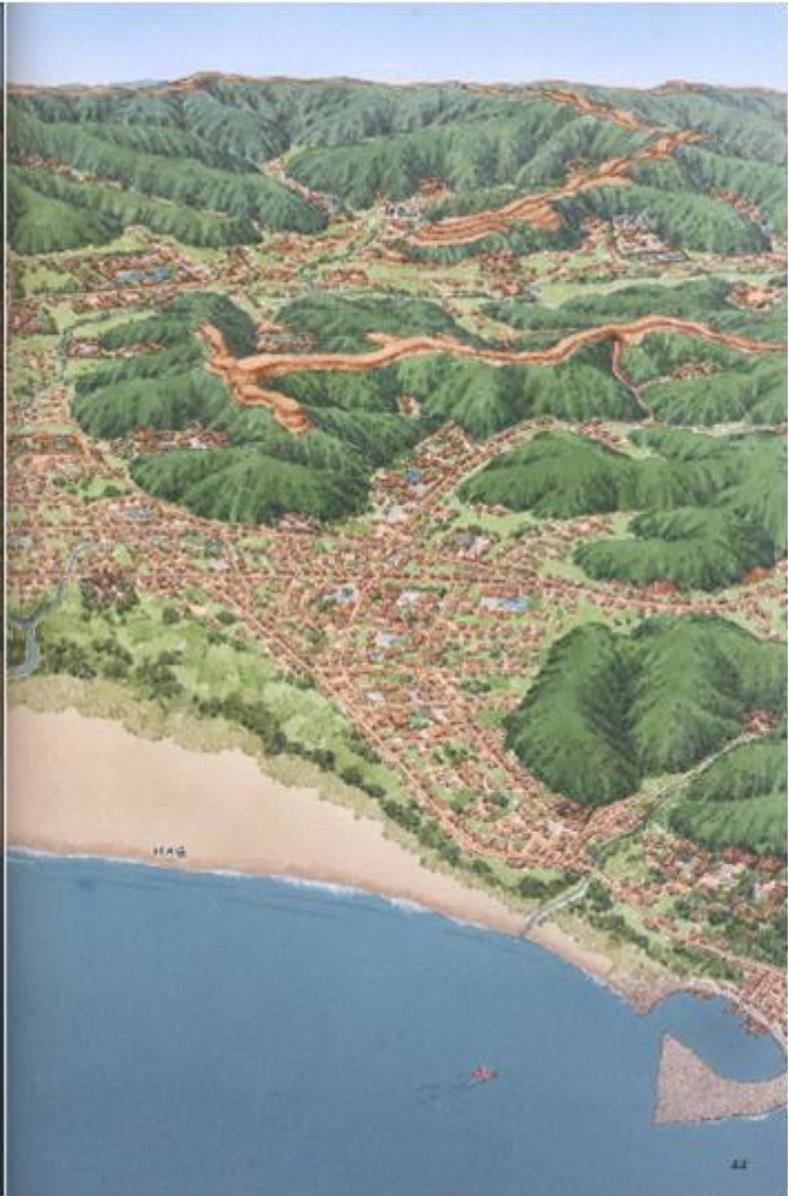
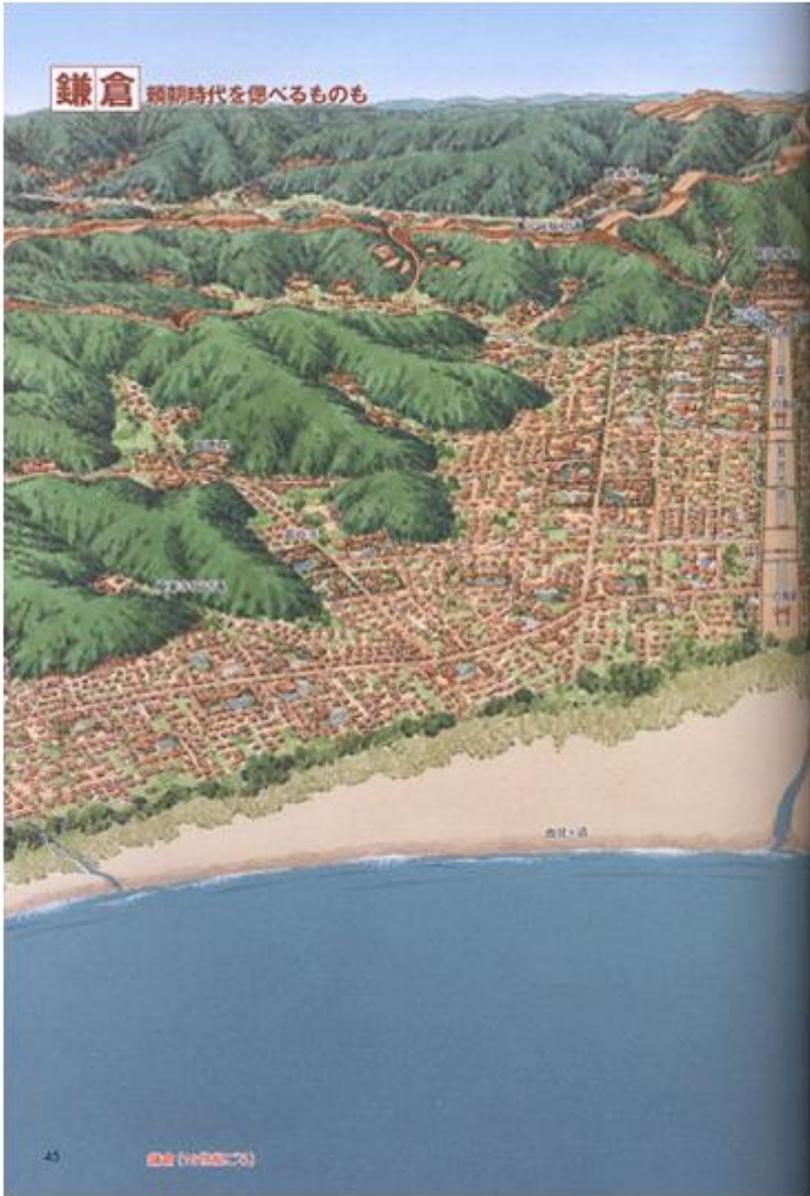
大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



鎌倉 頼朝時代を偲べるものも



NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一歩～



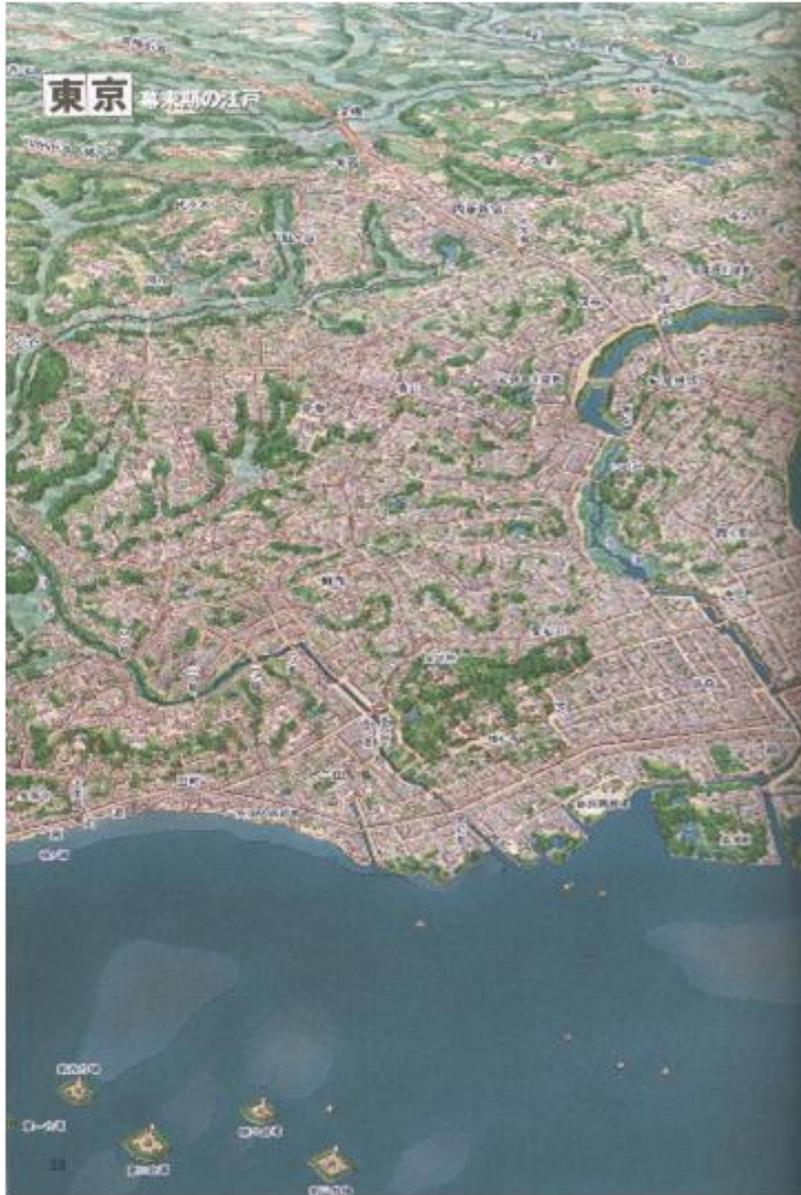
日本再生の総合特区を考える

大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一歩～



日本再生の総合特区を考える

大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- 3世代がそれぞれに**役割を持って**、**家族**として、**生涯現役**で暮らす世の中

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



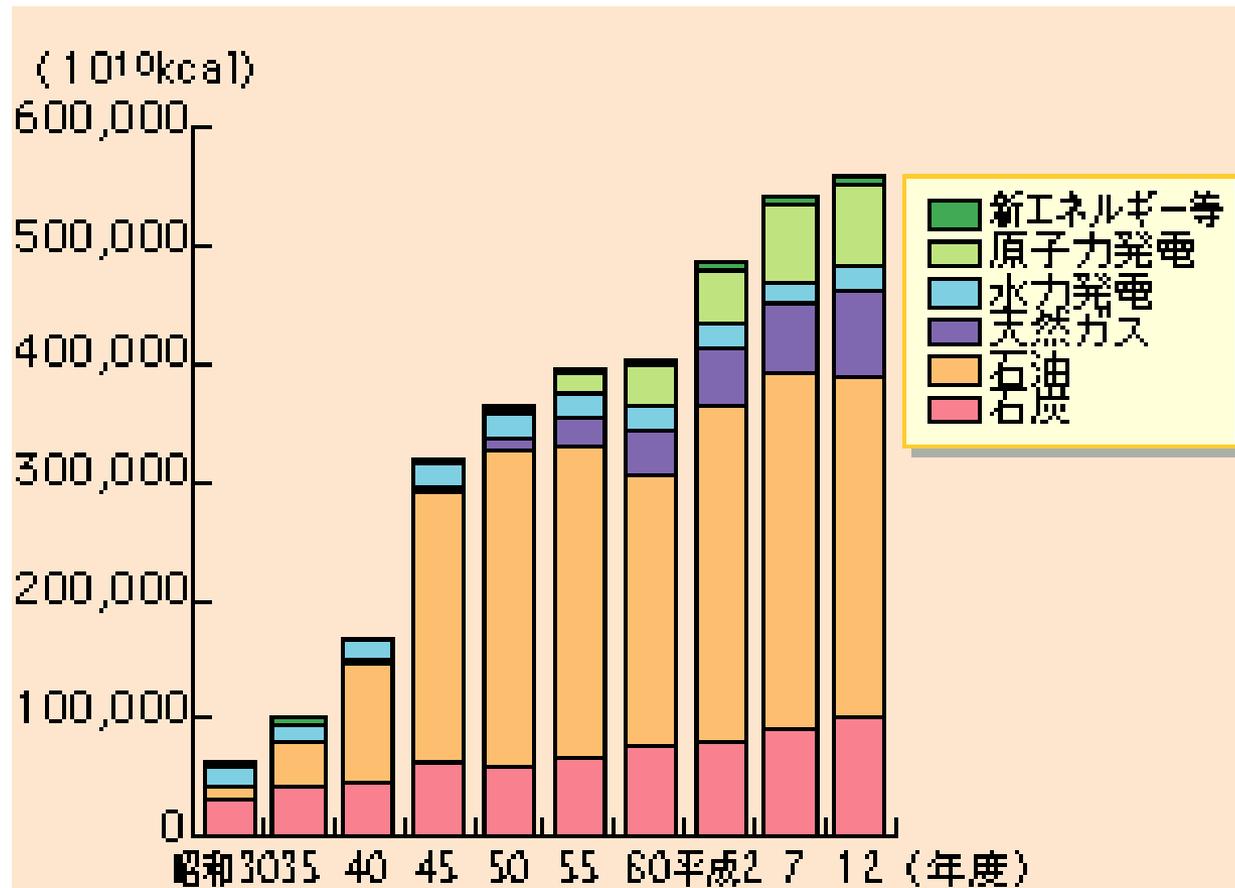
日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- **熟練形成が重視**される社会では、
職業によって服装や体格、ライフスタイルが
異なってきた、**一見して職業がわかる**
ようになる。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



図1-1-6 日本のエネルギー供給量



資料：資源エネルギー庁『総合エネルギー統計』
より環境省作成

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～

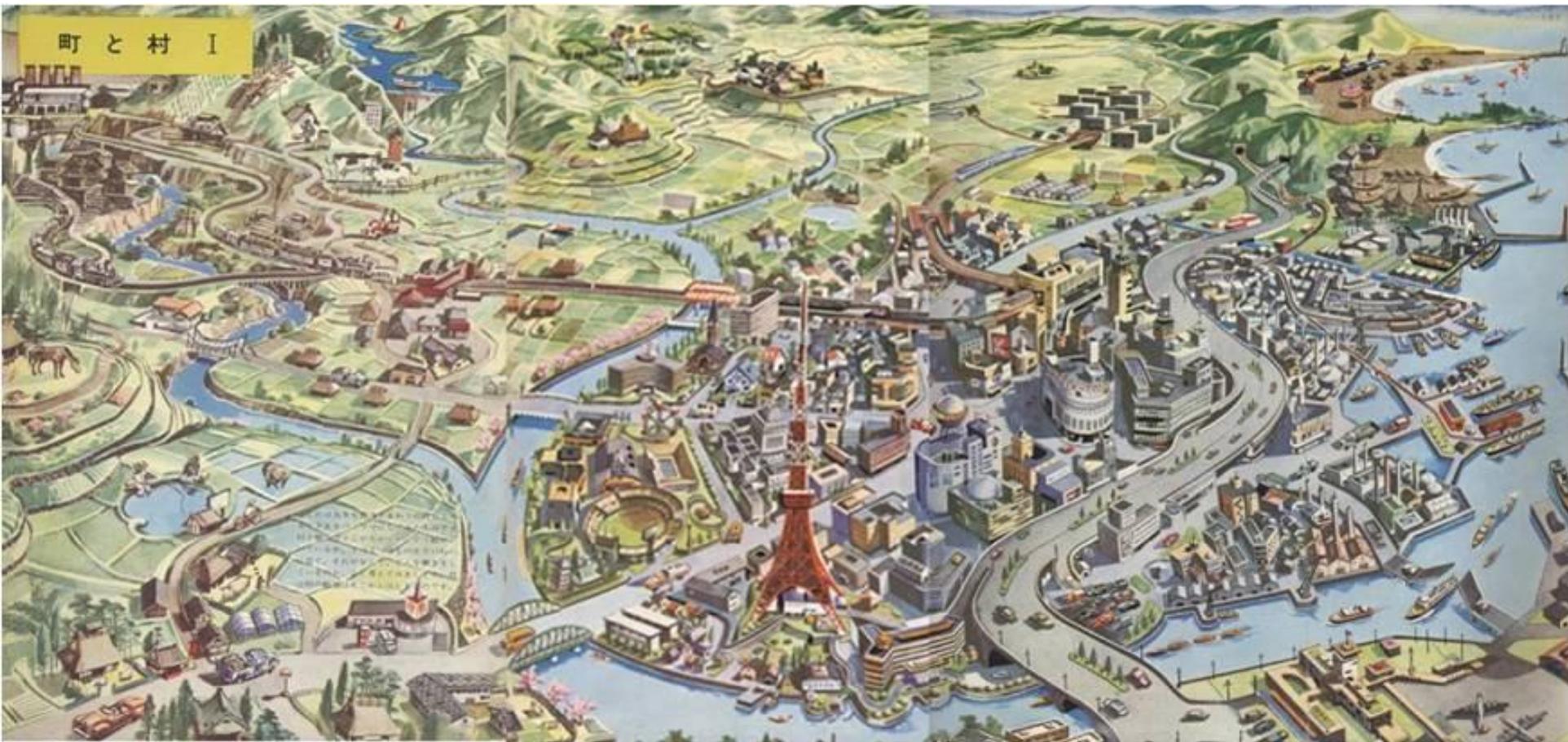


日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

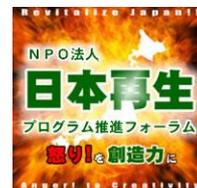
- 昭和30年代の日本は、
現在の5分の1以下の
エネルギーで運営されていた。
- 戦略的低エネルギー生活の
ひとつの手本がある

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：町と村Ⅰ

左側に山。川が流れてきて、中山間地と都市があって、海がある。これが**昭和30年代の日本の典型的な風景**です。

基本的にこの景観を再現しながら、中身は最新の技術と仕組みで、**21世紀の健康で持続可能性の高い都市と田舎**を創っていくと、どんな日本になるだろう？

<参考掲載資料>

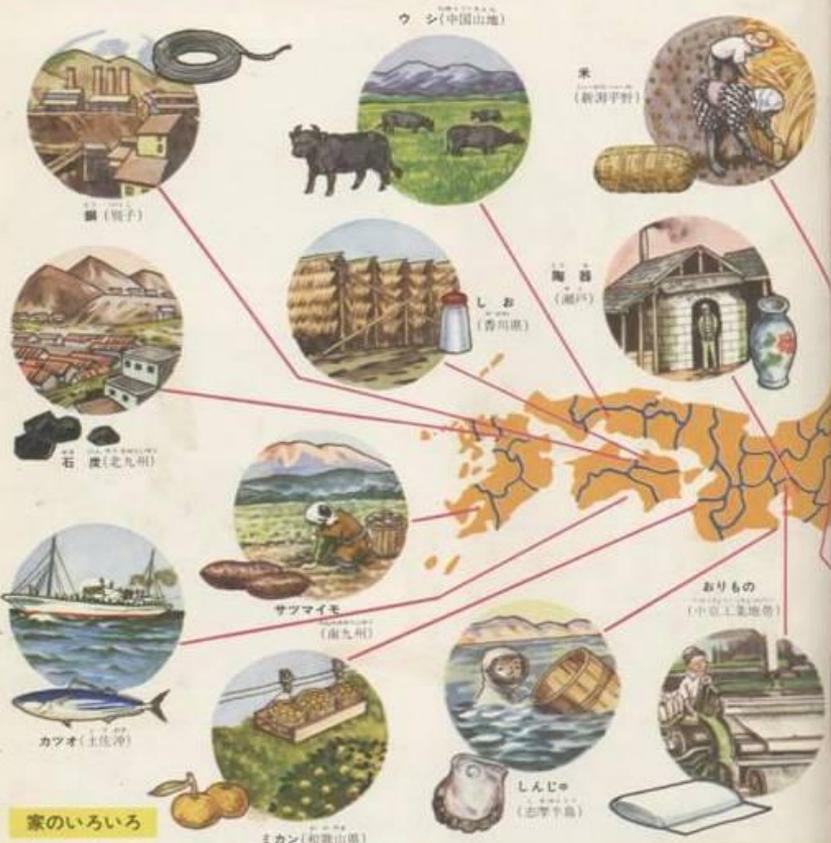
小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



各地のくらし I

日本の各地には、それぞれの自然と歴史はくまなく
生活がいちなまれています。これを産物についでみて
も、海の幸や山の幸がいろいろ生産されているのです。
また生活のよりどころであるまいつくりかたも、土
地の条件によろしく、さまざまな形式がとられます。



NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム 日本再生！総合特区～最初的一步～



日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：各地の暮らしI

- 40年前の日本各地の「特産物」の図です。昔、日本には各地の**風土と人が作った「特産物」**がこれだけ豊富にあり、それらは国内はもとより、外国にも輸出されて、地域の産業として雇用と経済を担っていました。
- 日本の地域を再生するためには、改めて地域の「特産物」を作り、それが国内外に売れなければなりません。**特産物の開発と販売**なくして、地域経済の本格的な再生はあり得ません。

それから**各地の家**がそこにあります。

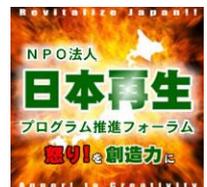
これはその地域の**風土と生活**に合わせて、**戦略的低エネルギーで快適に暮らすために工夫された家**です。

これだけ地域によって家が異なるのです。

これからの日本の家を考える時に大いに参考になります。

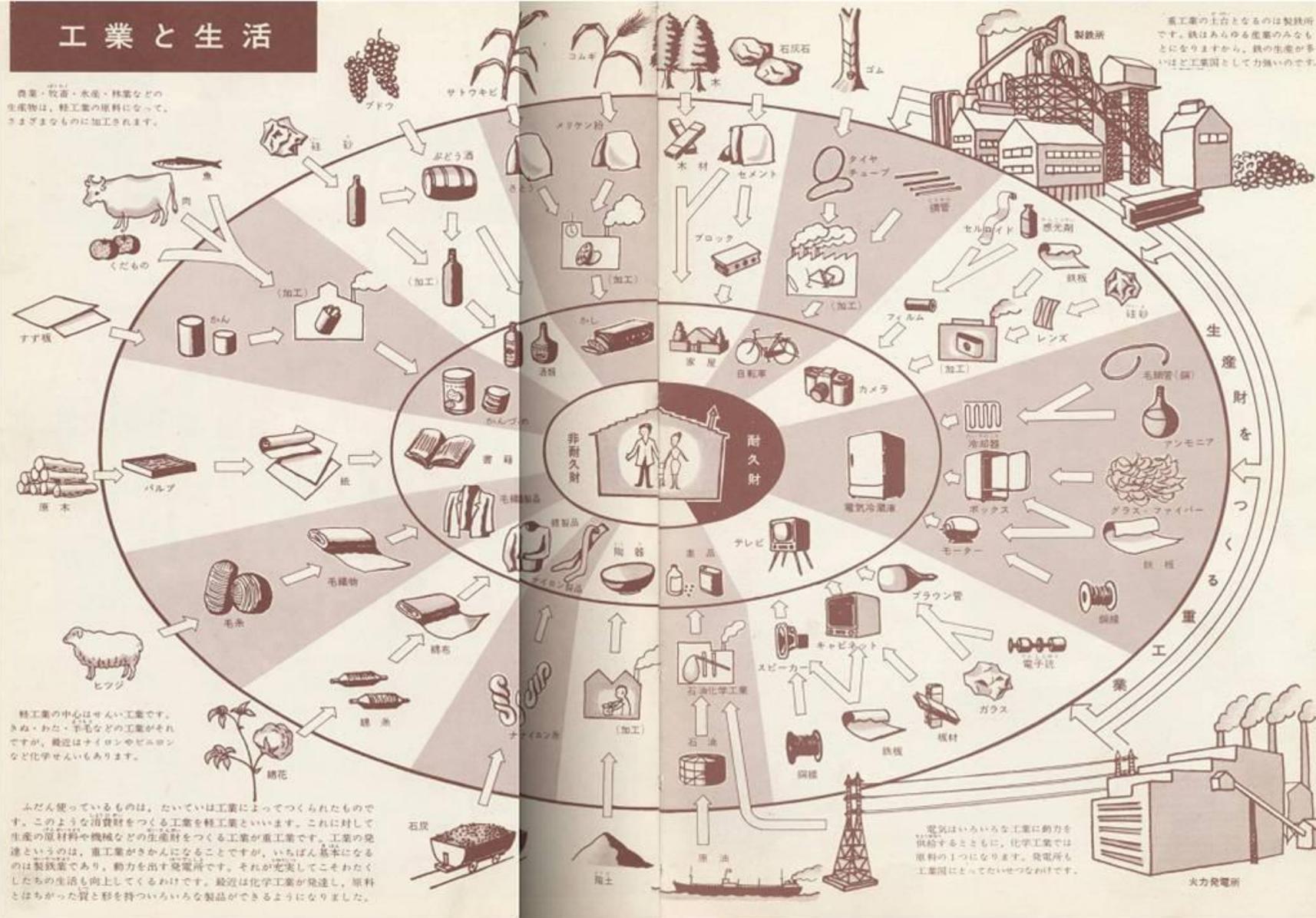
<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



工業と生活

農業・牧畜・水産・林業などの生産物は、軽工業の原料になって、さまざまなものに加工されます。



重工業の土台となるのは製鉄所です。鉄はあらゆる産業のみなもとになりますから、鉄の生産が多いほど工業国として力強いのです。

軽工業の中心はせんい工業です。きぬ・わた・羊毛などの工業がそれですが、最近ではナイロンやビロロンなど化学せんいもあります。

みんな使っているものは、たいていは工業によってつくられたものです。このような消費財をつくる工業を軽工業といいます。これに対して生産の原材料や機械などの生産財をつくる工業が重工業です。工業の発達というのは、重工業がきかなくなることで、いざばん基本になるのは製鉄業であり、動力を出す発電所です。それが充実してこそわたくしたちの生活も向上してくるわけです。最近では化学工業が発達し、原料とはちがった質と形を持ついろいろな製品ができるようになりました。

電気はいろいろな工業に動力を供給するとともに、化学工業では原料の一つになります。発電所も工業園によってたいせつなわけです。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

社会科の図鑑：工業と生活

▶真ん中に家があります。

その外側に**家**に必要な**道具**が並んでいます。

さらにその外側に**部品と素材**が並び、一番外側に**原料**が並んでいます。

地域で資源食料の自給率を上げるということは、

外側の原料が地域でとれるもの、それを加工して部品や素材にして、
家の中に並ぶ道具にして、家を成り立たせるということです。

それを可能にするのが、**科学技術**です。

<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

1. 21世紀に日本と世界が追い求める理念

『健康と持続可能性を考えたライフスタイル』

- 人も社会も健康で、持続可能性が高く、しかもそれがライフスタイルのなかに組み込まれている。
- 平和、経済、資源・食料・エネルギー、治山治水、心身の健康、歴史文化などあらゆる面で持続可能性が高いことが大切。
- これらの問題に個別に対処するのではなくて、すべてが成り立つライフスタイルを形成することが大切。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

2. 21世紀の日本と世界の経済の現実

- グローバル主義から地域・民族自立へ
： 世界最適生産・最適調達 → 地域・民族ごとの個性化
- 経済の先祖がえり : 金融と市場原理主義 → 雇用が第一
- 経済の物差し : 生産と消費 → 所得と雇用
- 少子高齢化時代の本格化 : 量・即戦力 → 質・熟練
- 資源・食料・エネルギー制約の本格化
： 安価で大量の世界調達 → 地域自給と戦略的低エネルギー
- 政府機能の衰退化、財政の行き詰まり : 官と民の対峙 → 新しい公共

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

3. 総合特区の基本戦略

➤ 2. の変化の「右側」が「左側」に変化したのが日本であれば、昭和30年代の高度成長以降

➤そして「左側」が限界に達して「右側」に振り子が戻ろうとしている。

『ならば、今から40年前に街と田舎を戻してしまっ、そこから改めて2の右側の条件を満たすように新しい技術と仕組みとビジョンで作り直していったら、どんな未来の街と田舎ができるだろうか』

2つの基本理念

- ・健康と持続可能性を考えたライフスタイルの実現
- ・地産地消

基本理念を実現するための中核的戦略

- ・戦略的低エネルギー

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

4. 総合特区の特徴

- **行きすぎから戻ってやり直すという思想**
- 昭和時代への景観の憧れがある。景観は時代を超えて人を引き付ける。
- 当ても資源・食料・エネルギーの多くは地域で生産していた。
現代の技術で改めて生産してみる。
- 地域の特産物、地場産業を育成する。
- 交通も家庭も新しい技術を使って、循環可能なエネルギーによって成り立たせる。
- 人も当時はもっと体を動かしていた。
意図的に人が体を動かして、熟練度を高める仕事を創出する。
- 教育も学校と地域と職場と家庭が一体となっていく。
- 公共の仕事は住民が担う分が多かった。それを新しい公共で実現する。
- 山林、河川、海、農地も貴重な資源として維持発展させる。
- 治山治水については無理に守るのではなく、災害の起こりにくいところに居住する。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生の総合特区を考える

5. 総合特区のありかた

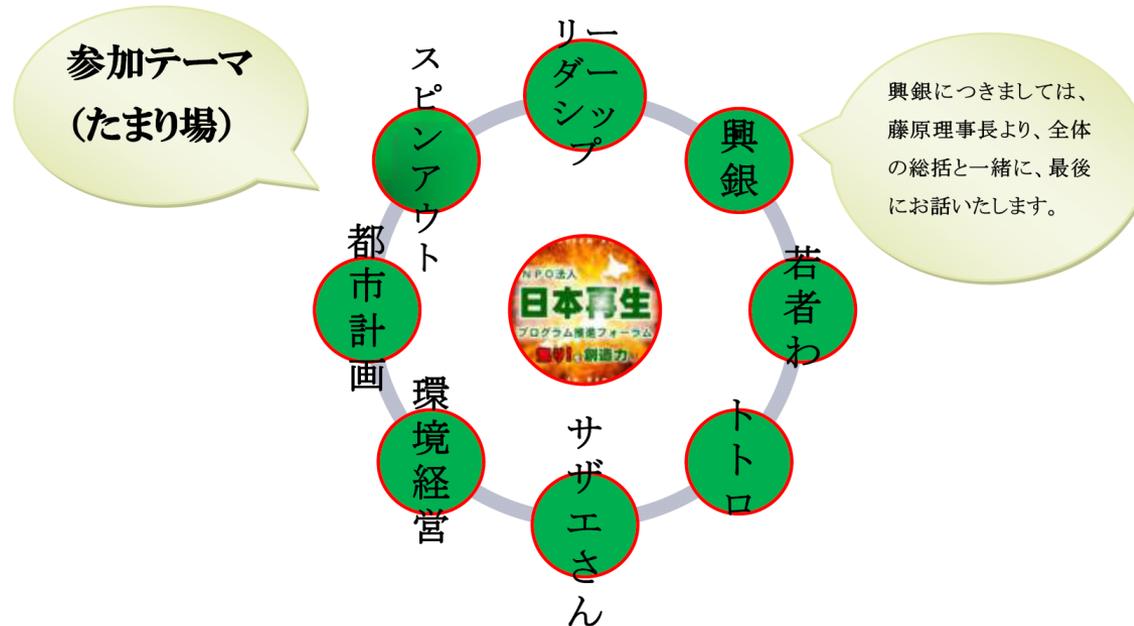
- 山の上から河川を経て海まで、中山間地、都市を一帯の総合特区に指定して、実験的に21世紀らしい日本のひな型を創ってみる。
- こうした総合特区を日本全国の各地域に創って、地域色豊かな21世紀の地域をそれぞれに生み出す。
- その過程で生まれる高い付加価値を持った技術、仕組み、人材、特産物などが、国内外に普及することで、総合特区のコストを回収する。
- また、総合特区を創るために必要な人材、資金、技術、技能、さらに特産物の販売先などは、日本再生のために創設する平成版日本興業銀行が仲介して用意する。
- 平成版日本興業銀行は、1. 経営、と、2. 技術、と、3. 市場、のわかる人たちで構成し、実質的に総合特区のメインバンクとなる。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



第8期テーマ

総合特区をつくろう！最初の一步！



【参加型イベント概要】

NSP 第8期のテーマ『みんなでNSP 総合特区をつくろう！』の最初の一步として、総合特区の構成要因となる上記のテーマについて、実際にNSP 総合特区実現に向けてあるべき姿、具体的に盛り込みたいアイデアを、どんどん出し合う参加型イベントです。

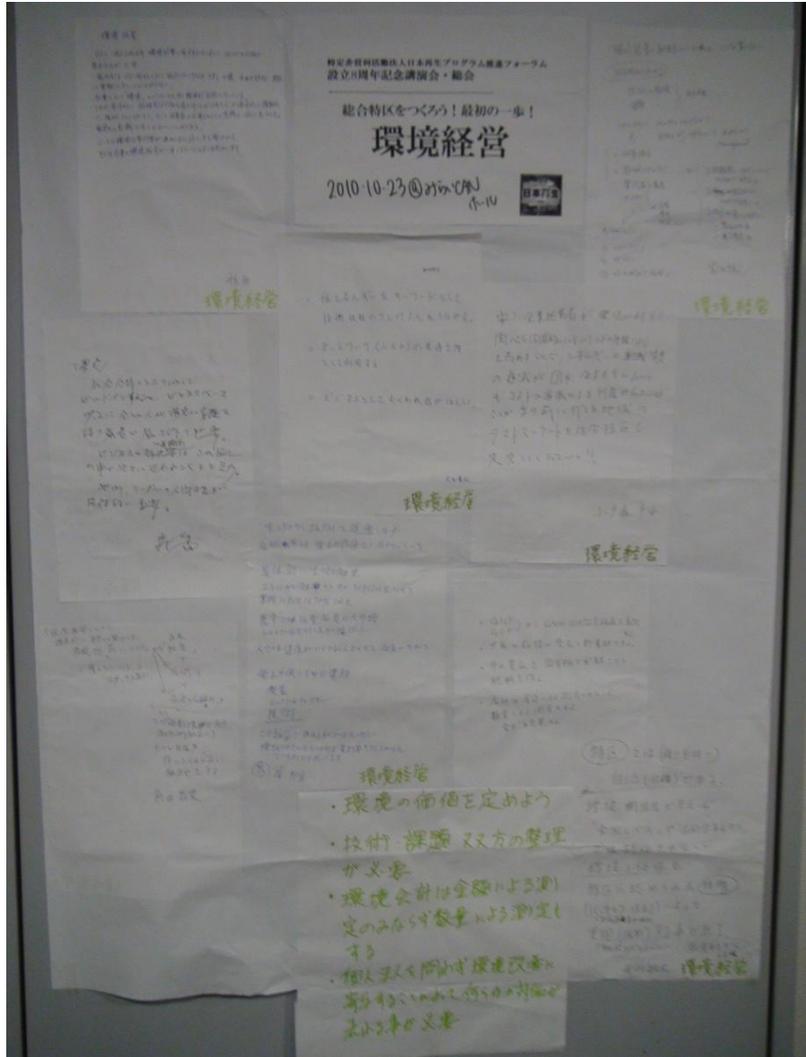
会場内を上記7つのテーマ(興銀除く)をたまり場として設けております。

各たまり場の座長の下案をもとに、各テーマごとに区切ったたまり場で、一緒に語り合います。

もちろん、それぞれのたまり場間を自由に動き回れるなど、会場内を途中移動も可能です。

まずは、ひとりひとりの考え、実現する想いを、皆さんと一緒に具体的に出し合います！

環境経営



- ▶ 環境と聞いて、皆さんは何を思いますか。
- ▶ 環境とはなんだろう。経営とはなんだろう。
- ▶ 温暖化とはなんだろう。
- ▶ 環境と経営のつながりは、
どんな関係を築いていくべきでしょうか。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



環境経営

環境経営

個人、法人問わず、環境改善に寄与することは、個人の対価、
 社会的意義、

一般市民は何か参加したり協力したりすれば、大気、土壌、水や
 植物に貢献できているかわからない。

企業にとって「環境」というのは大きな精神的負担になっている。
 これを具体的に、経理的対価と表すことができれば、より具体的に積極的
 に取り組んでいこう。そして従業員が企業人としての意識と個人に戻ったとき
 の家庭での意識は全く変わっていくのである。

小さな環境改善対策がみんなに役に立ち喜ばれる。
 個人の企業環境経営、第1ステージの取り組みです。

○ 低エネルギーをキーワードとして
 技術、技能のレベルアップをうながす。

○ ネットワーク（人々の）の共通言語
 として利用する。

○ ビジネスとしてまくわれ感がほしい。

➤個人、法人問わず、環境改善に寄与することによって、なんらかの
 対価が現れることが必要

➤一般市民は、何か参加したり協力したりすれば、大気、土壌、水や
 植物、樹林に貢献できているかわからない

➤企業にとって「環境」というのは大きな精神的負担になっている
 →これが具体的に経理的対価を表すことができれば、より具体的に積極
 的に組み立てていこう

→従業員の企業人としての意識と、個人に戻ったときの家庭での意
 識は全く変わっていくのである

- 小さな環境改善対策が、みんなに役に立ち喜ばれる
- 企業の環境経営が、第1ステージのような気がする
- 社会全体のシステムとして、ビルドインすること、ビジネスベース以上に
- すべての人が環境に責任を持つ気遣い風土作りが必要
- リーダーの人間性が絶対的に重要

2票

社会全体のシステムとして
 ビルドインすること、ビジネスベース
 以上に、全員の気遣い風土を
 持つ気遣い風土作りが必要。

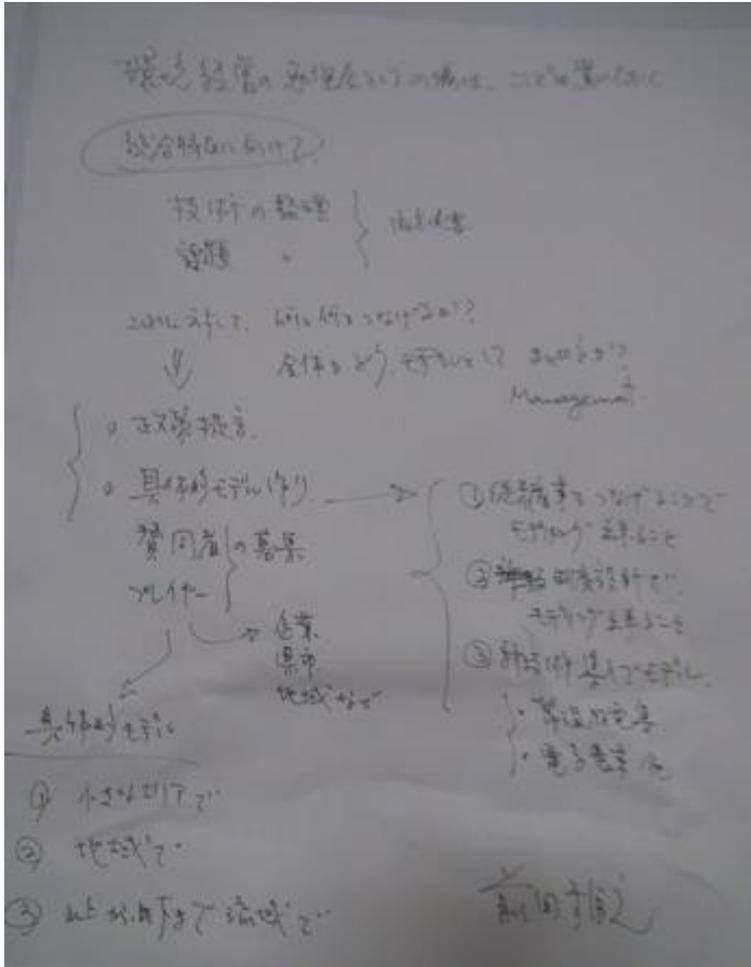
ビジネスの解決策は、この風土
 の中で次々に進められていく。

ヤマト、リーダーの人間性が
 絶対的に重要。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
 日本再生！総合特区～最初の一步～



環境経営



中小企業経営者が環境に対する
関心(間接的にムリムラムダの排除(的))
を高めることで、エネルギーの消費
の削減が図れ、企業経営にお
もコストの削減による利益が高まることが、
当たり前に行える地域の
テストマーケットを総合特区で
実現してくらさう!!

▶中小企業経営者が環境に対する関心(間接的にムリムラムダの排除によって)を高めることで、エネルギーの消費や低減が図れ、企業経営においてもコストの削減による利益が高まってくるのが、当たり前に行える地域のテストマーケットを総合特区で実現してください!

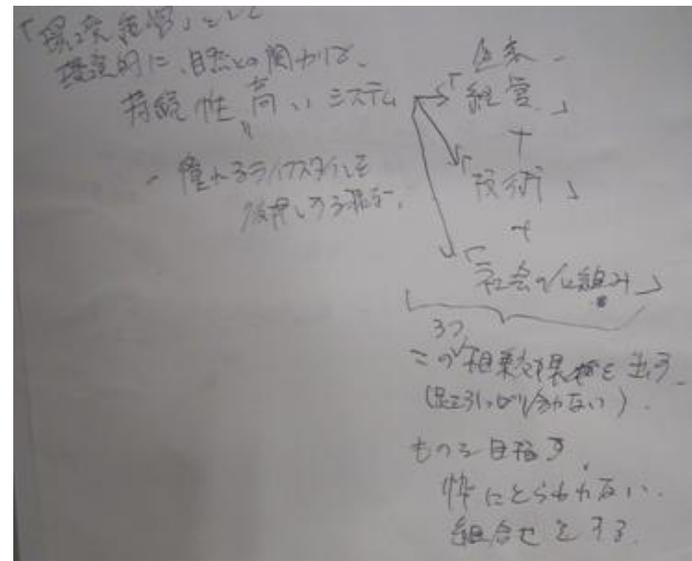
- ▶総合特区に向けて技術の整理、課題の整理が必要
- 政策提言、具体的モデル作り(賛同者・プレイヤーの募集:小さなエリアで、地域で、川上から川下まで流域で)
 - :従来産業をつなげることで、モデリングできること
 - :制度設計でモデリングできること
 - :新技術導入でモデル

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



環境経営

特区とは(権力を持つ)
 自治(分権)である。
 環境経営で言えば、
 「全国レベル」や「民間企業レベル」
 では、評価されない
 「環境」価値を、
 特区に認められた**特権**
 (経済的・法的)によって
 実現(強制)する事である。
 (地域通貨や税制) (投資やリスク)

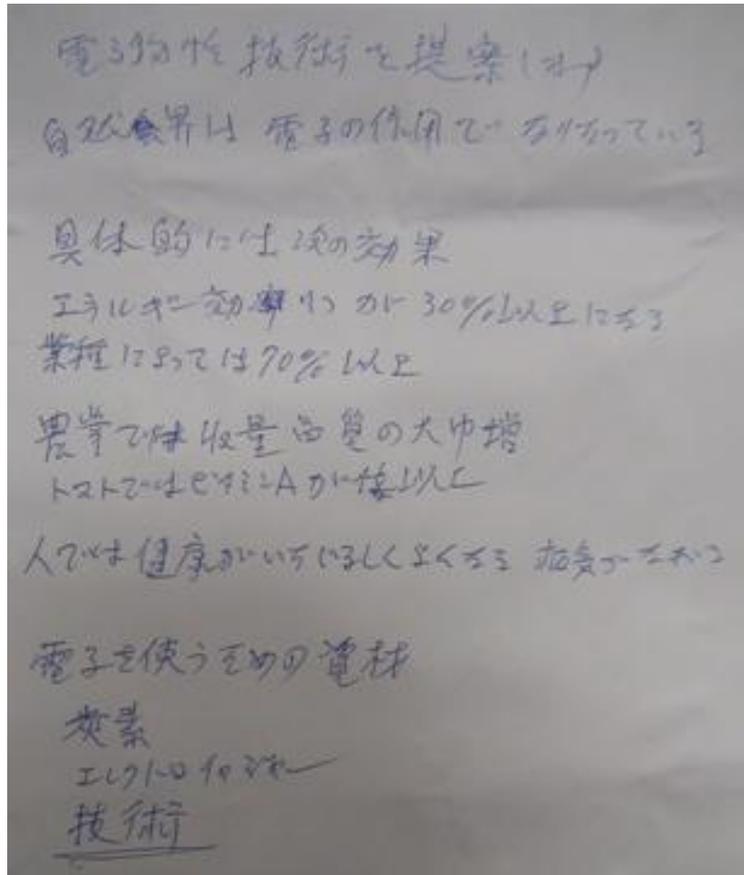


- GNP/GDPからGNHを重視する
- 牛の糞尿を微生物で発酵させて肥料をつくる
- 環境会計は金額による測定のみならず数量による測定もする(電子消費量など)
- 特区とは、権力をもつ自治(分権)である
- 環境経営でいえば、「全国レベル」や「民間企業レベル」では、評価されない
- 「環境」価値を特区に認められた特権(経済的、法的)によって、実現することである。
- 環境の価値を定めよう
- 技術、課題、双方の整理が必要
- 環境経営として、環境的に自然との関わりで持続性の高いシステム=憧れるライフスタイルを後押しする
- 企業経営+技術+社会の仕組みとこの3つの相乗効果を出す(足を引っ張り合わない)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
 日本再生！総合特区～最初の一步～



環境経営

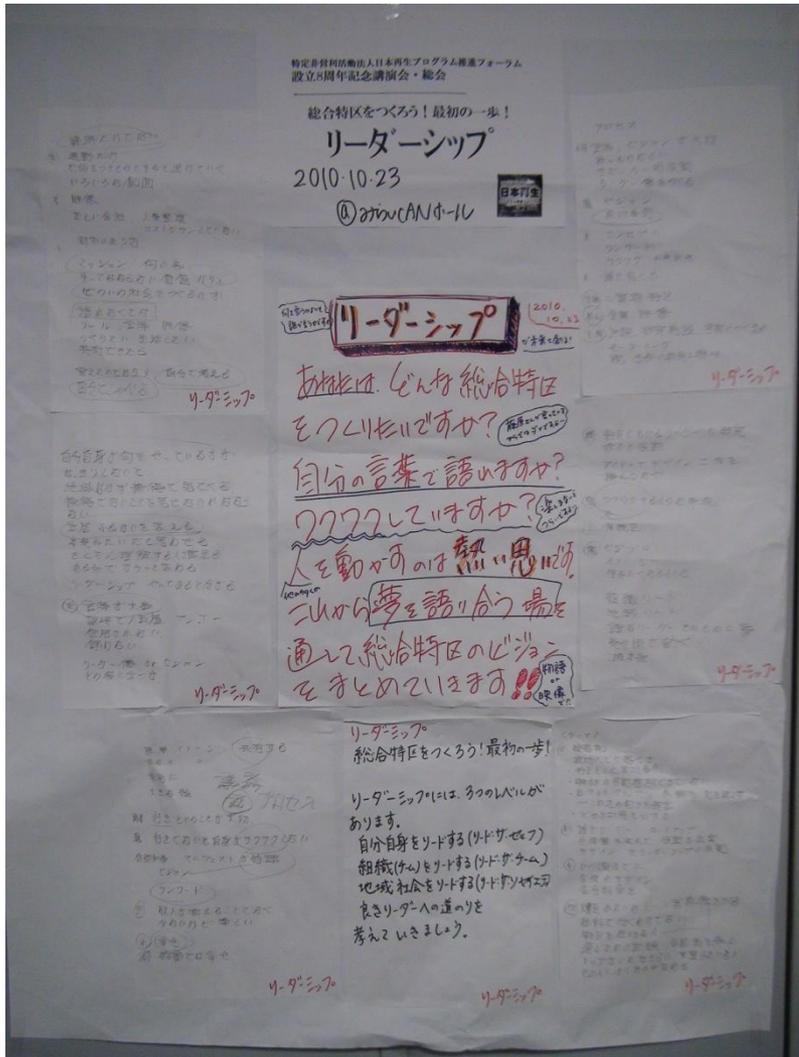


- 低エネルギーをキーワードとして、技術・技能のブレイクスルを促す
- ネットワーク(人々の)の共通言語として利用する
- ビジネスとしてむくわれ感がほしい
- 電子物性技術の提案
 - 自然界は、電子作用でなりたっている
 - エネルギー効率が30%以上になる(業種によっては70%以上)
 - 農業では収量品詞の大幅増(トマトではビタミンAが倍以上)
 - 人では健康が著しく良くなる、病気が治る
 - 電子を使うための資材
 - :炭素、エレクトロチャージャー、技術

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



リーダーシップ

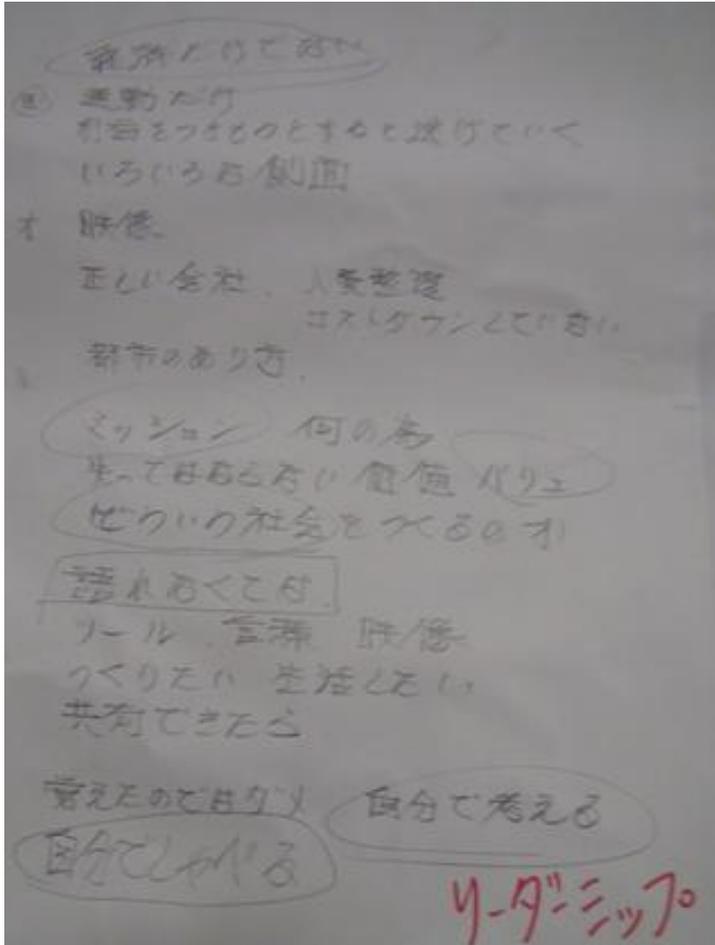


- リーダーシップには、3つのレベルがあります。
- 自分自身をリードする。
(リード・ザ・セルフ)
- 組織(チーム)をリードする。
(リード・ザ・チーム)
- 地域社会をリードする。
(リード・ザ・ソサイエティ)
- 良きリーダーへの道のりを考えていきましょう。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一歩～



リーダーシップ

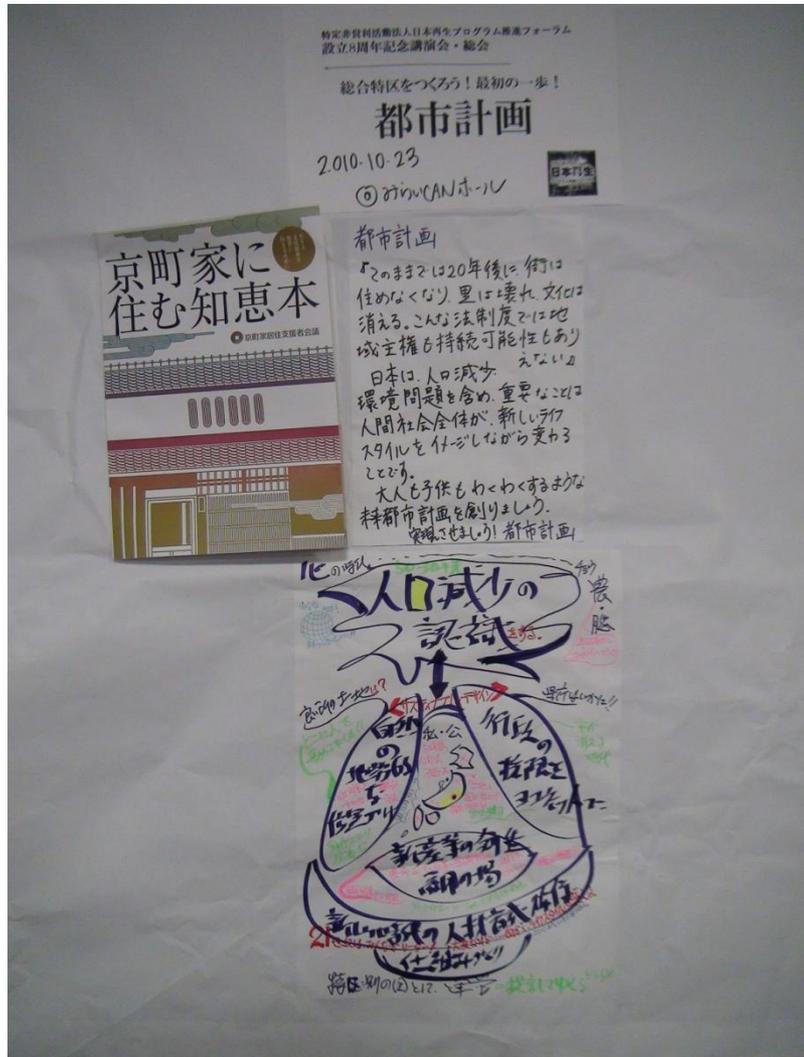


- ▶あなたは、どんな総合特区をつくりたいですか。
- ▶自分の言葉で語れますか。
- ▶ワクワクしていますか。
- ▶人を動かすのは熱い思いです。
これから夢を語り合う場を通して総合特区のビジョンを
まとめていきます。
- ▶経済だけでない。
：通勤だけー利益をつかもうとすると逃げていく。
- ▶覚えたのではだめ、自分で考える、自分でしゃべる

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



都市計画

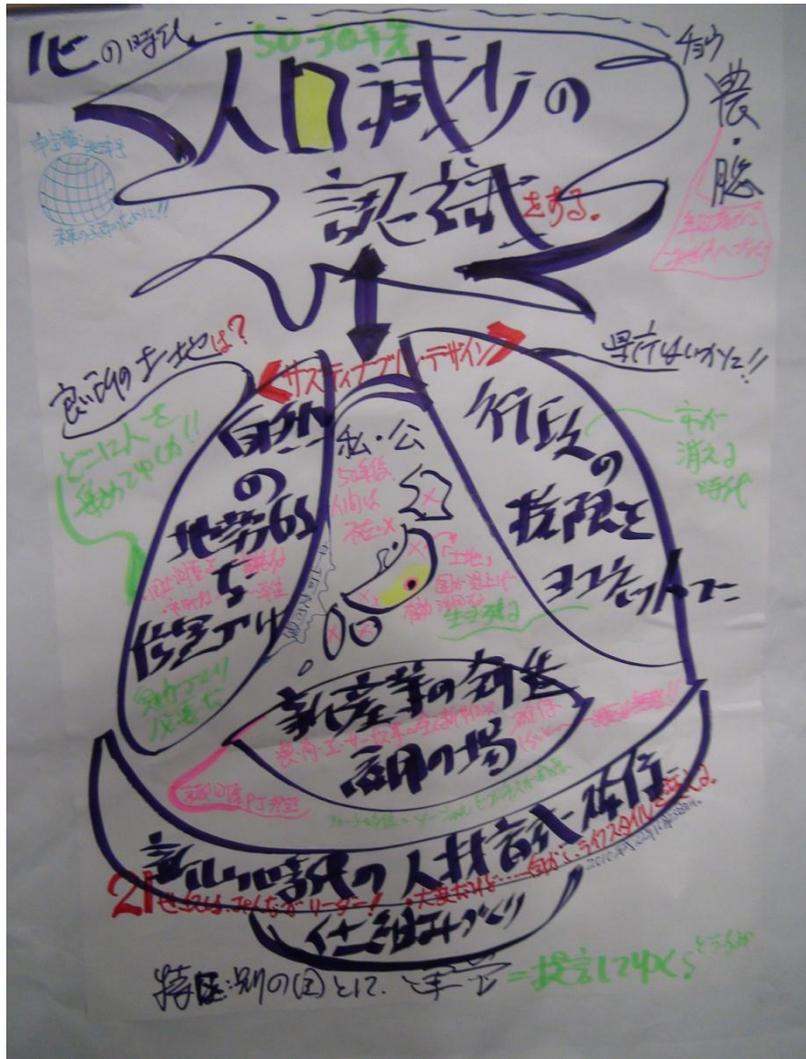


- ▶『このままでは20年後に、街は住めなくなり、里は壊れ、文化は消える。こんな法制度では、地域主権も持続可能性もありえない。』
- ▶日本は、人口減少・環境問題も含め、重要なことは人間社会全体が、新しいライフスタイルをイメージしながら変わることです。
- ▶大人も子供もわくわくするような未来都市計画を創りましょう！実現させましょう！

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



都市計画

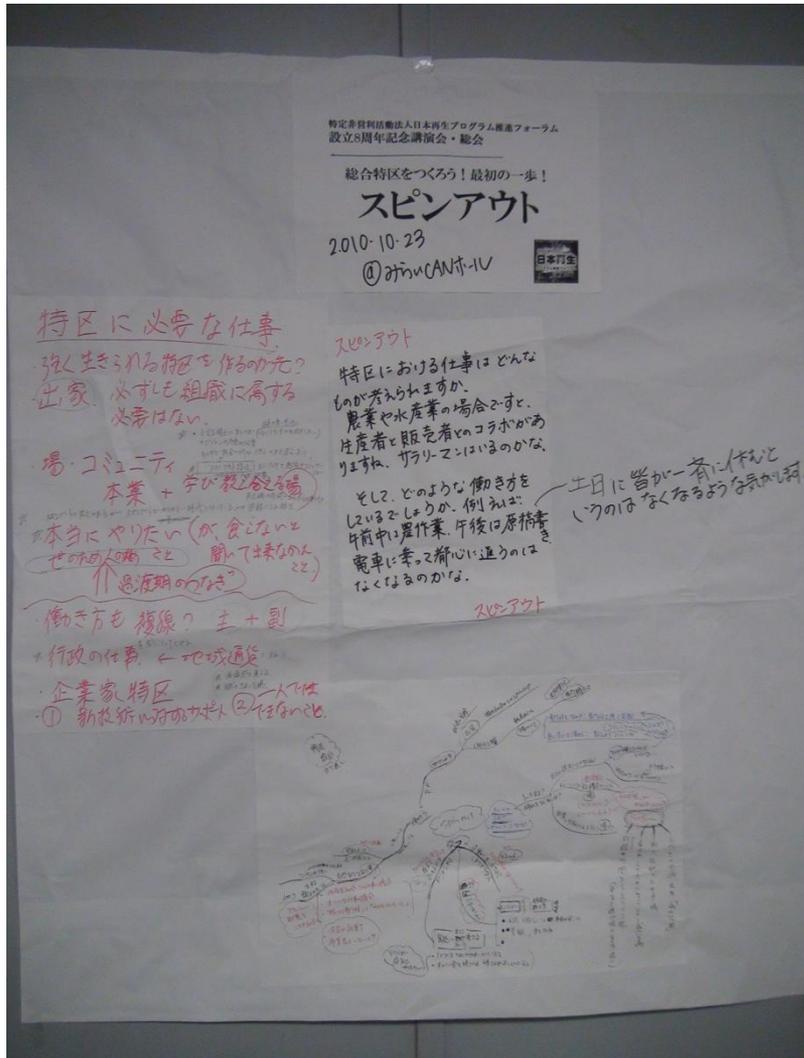


- 心の時代
- 人口減少の認識をする
- サステナブルデザイン
- 行政の権限をヨコ型のネットワークに
- 新産業の創生
- 雇用の場:新しい時代の人材育成
- 特区を別の国として、運営し提言していく

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



スピニアウト

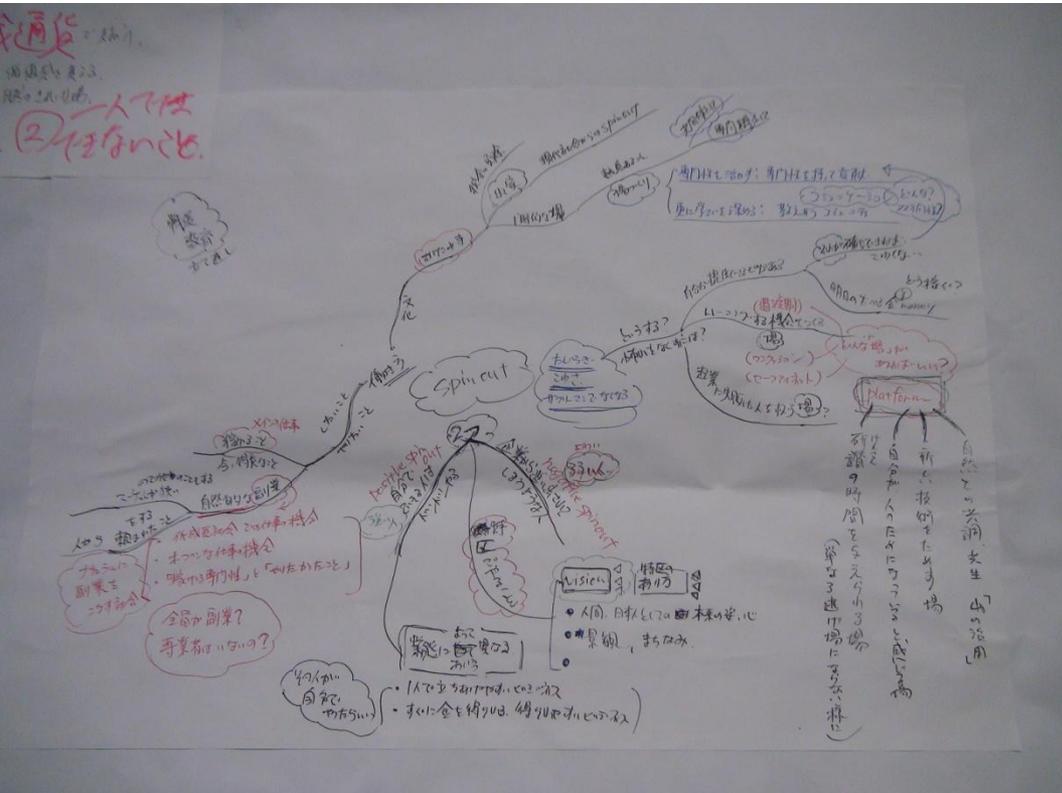


- ▶ 特区における仕事はどんなものが考えられますか。
- ▶ 農業や水産業の場合ですと、生産者と販売者のコラボがありますね。サラリーマンはいるかな。
- ▶ そして、どのような働き方をしているのでしょうか。
- ▶ 例えば、午前中は農作業、午後は原稿書き。電車に乗って都心に通うのはなくなるのかな。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



スピニアウト

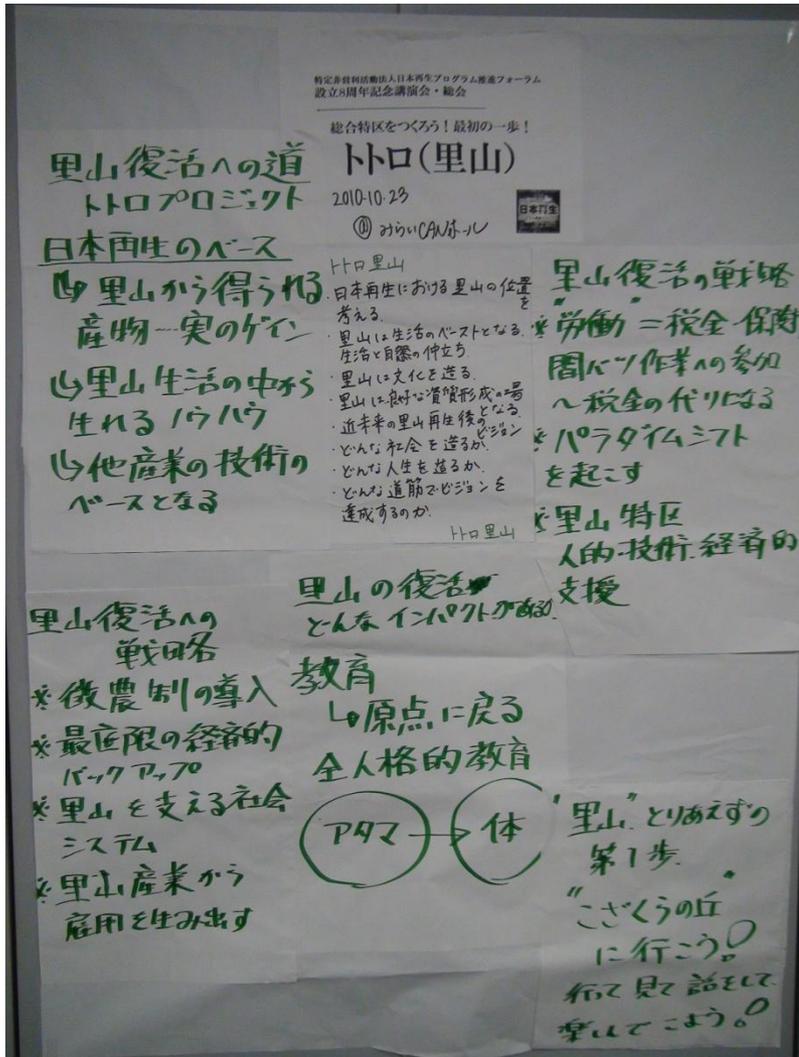


- ▶特区に必要な仕事
- 強く生きられる特区を作るのが先?
- 出家: 現代社会からのスピニアウト
- 必ずしも組織に属する必要はない
- 場・コミュニティ: 本業+学び教え合える場
- 本当にやりたい(が食べれないと聞いてできなかったこと)
 - : 世のため人のため
- 働き方も複線?: 主+副
- 行政の仕事: 地域通貨
- 起業家・企業家特区
- かけこみ寺: 一時的な場
- ▶土日に皆が一斉に休むことが、なくなるような気がする
- ▶働き方(したいこと・やりたいこと)
- メインの仕事(稼げること・今得意なこと)
- 自然的な副業: ナチュラルに副業をこなす社会
- オープンな仕事の機会
- 稼げる専門性とやりたかったこと
- ▶ポジティブスピニアウト
- 自分でできる人はどんどんやる、強い人
- 一人で立ち上げやあすいビジネス
- すぐに金を得られる、得られやすいビジネス
- ▶ネガティブスピニアウト
- 企業から追い出されてしまうような人、弱い人
- ▶特区でやること
- 人間、日本人として本来の姿、心など
- ▶怖さをなくすには
- 起業に失敗した人を救う場
- トレーニングする機会をつくる場
- プラットフォーム
 - : 自然との共調・共生「山の活用」
 - : 新しい技術を試す場
 - : 自分が人のためになっていることを感じる場
 - : 研鑽の時間を与えられる場(単なる逃げ場にならないよう)



NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
 日本再生！総合特区～最初の一步～

トトロ(里山)

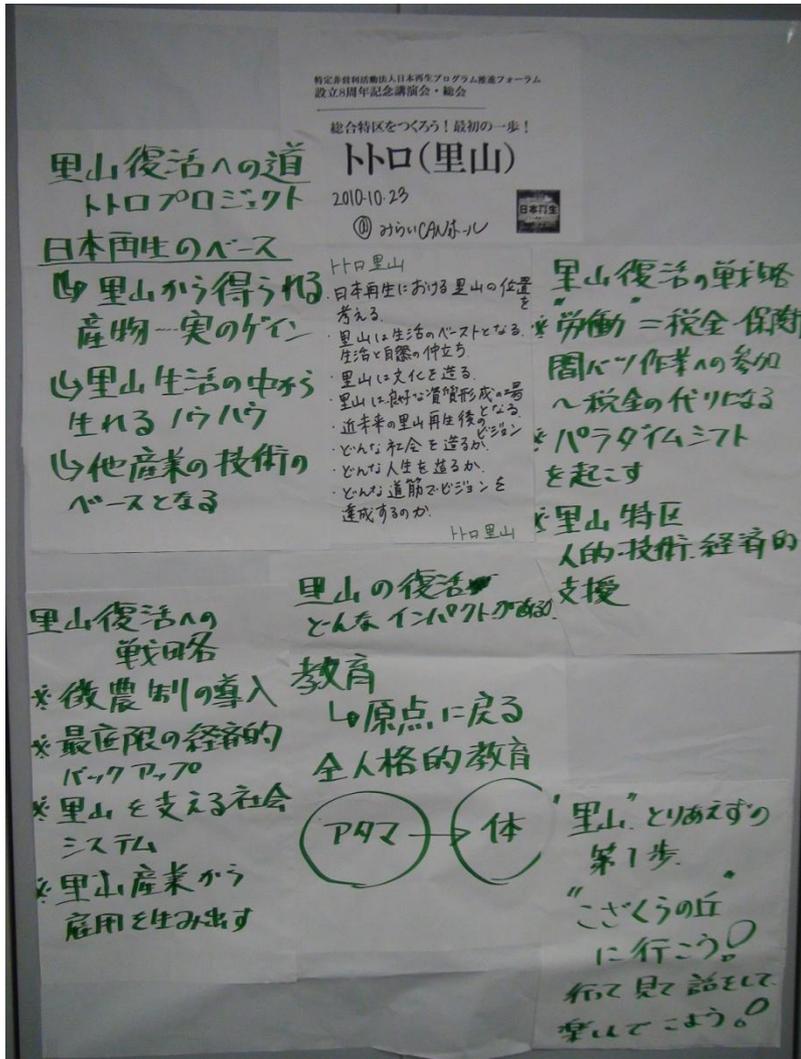


- ▶ 日本再生プログラムにおける里山の位置を考える。
- ▶ 里山は、生活のベースとなる。生活と自然の仲立ち。
- ▶ 里山は、文化を造る。
- ▶ 里山は、良好な資質形成の場となる。
- ▶ 近未来の里山再生後のビジョン。
- ▶ どんな社会を造るのか。
- ▶ どんな人生を造るのか。
- ▶ どんな道筋でビジョンを達成するか。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一歩～



トトロ(里山)



- 里山復活への道
- 里山の復活がどんな印のアクトがあるのか
- 教育: 原点に戻る
- 全人格的教育: 頭 → 体

- 日本再生のベース
- 里山から得られる産物一実のゲイン
- 里山生活の中から生まれるノウハウ
- 他産業の技術のベースとなる

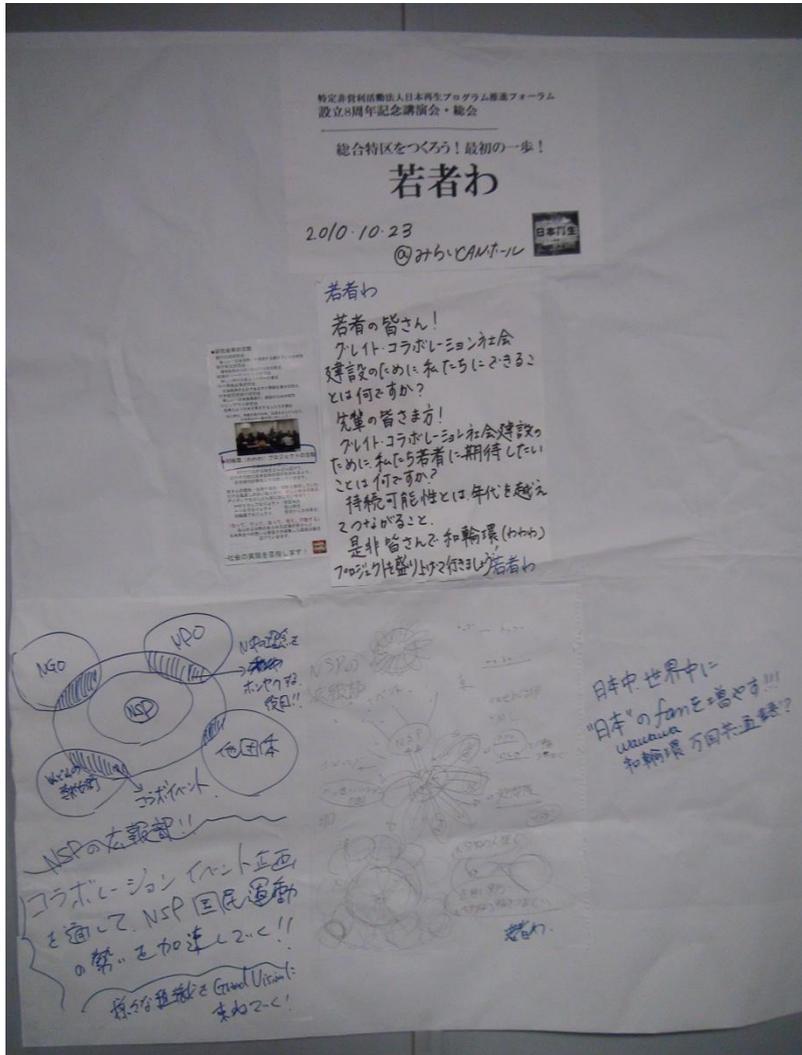
- 里山復活の戦略
- 徴農制の導入
- 最低限の経済的バックアップ
- 里山を支える社会システム
- 里山・産業から雇用を生み出す

- 里山復活の戦略
- “労働” = 税金、保険料
- 間伐作業の参加 (税金の代わりに)
- パラダイムシフトを起こす
- 里山特区: 人的・技術・経済的支援

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



若者わ

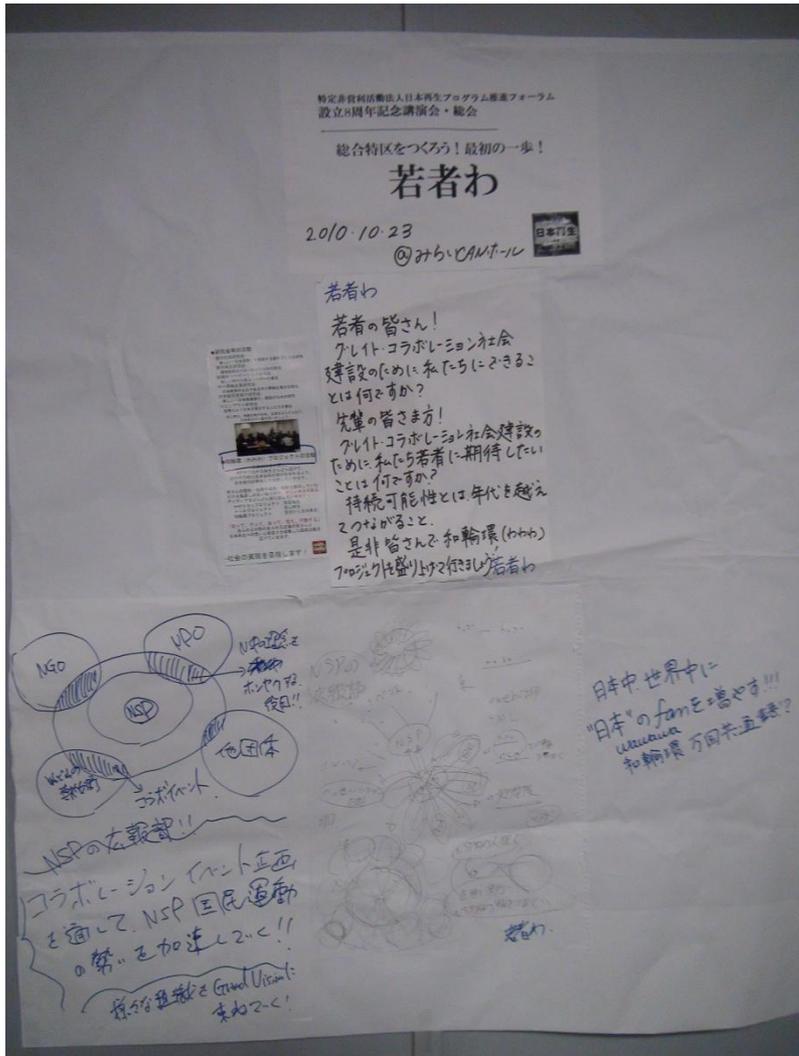


- 若者の皆さん！
グレイト・コラボレーション社会建設のために、私たちにできることは何ですか。
- 先輩の皆さま方！
グレイト・コラボレーション社会建設のために、私たち若者に期待したいことは何ですか。
- 持続可能性とは、年代を超えてつながること。
- ぜひ皆さんで和輪環(わわわ)プロジェクトを盛り上げていきましょう！！

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



若者わ



➤ NSPの広報部

➤ NSPの理念を翻訳する役目

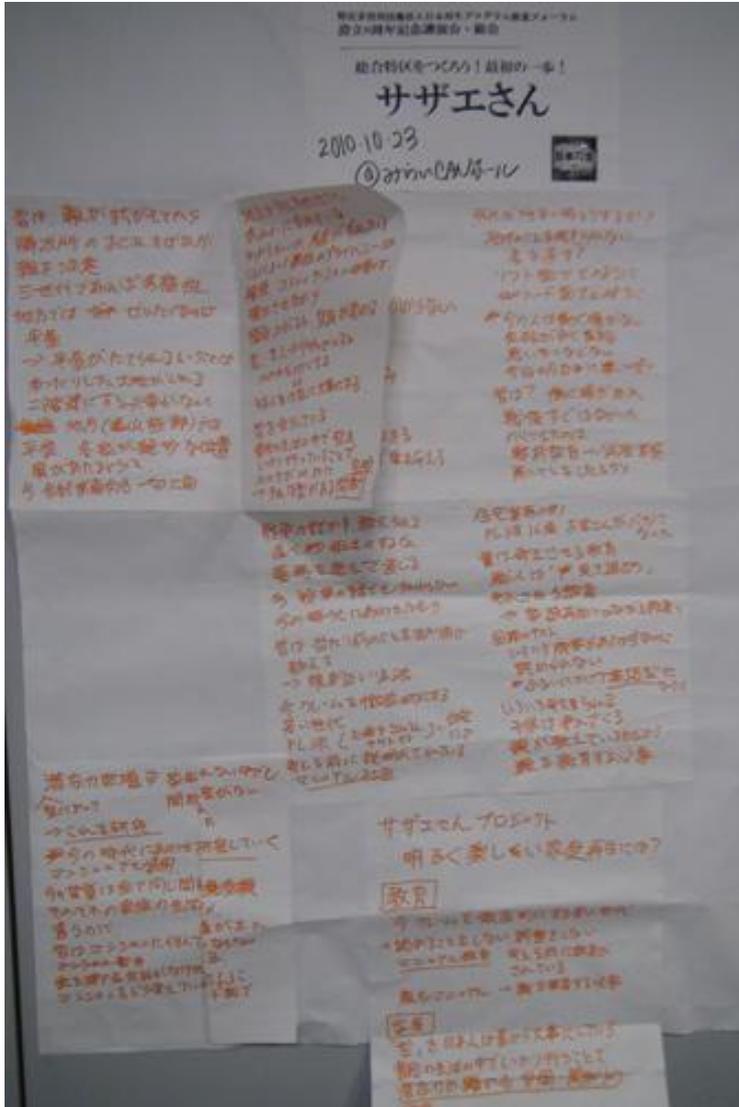
➤ 他団体、NGO、NSPなど、さまざまな組織をブランドビジョンに束ねていく!

➤ コラボレーション、イベント企画を通して、NSP 国民活動の勢いを加速していく!!!

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生! 総合特区~最初の一步~



サザエさん(家庭)



- ▶子供はどんな風に遊び、学び、大人はどんな風に働いているのがいいのか。
- ▶将来、家族が明るく楽しく暮らしている光景を想像して、これから家庭を持っていく世代、サザエさんの時代をよく知る世代、いろいろ集まって、今と未来の、あるべき家庭の姿をざっくばらんに話しましょう。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



サザエさん(家庭)

昔は、親が共がてから
隣近所のおじさんおばさんが
親を注視
三世代であれば多様性
地方では せせ せいたかや
平屋
→ 平屋が建てられたという事は
あつたりした土地がとれた
二階建てにする必要がない
地方(山形県)は
平屋 冬家が絶妙な位置
風があたらない
→ 全部南向き 一切に南

地方も同じ南向きでも
かみそにずれている
ゆがつかい、角度がずれている
ていよ? 最低のプライバシーは
確保。コミュニケーションの場は
確立させながら
階級上がると、空気が変わる
型、をしっかりとる
10の力が15にする
日本人は型を大事にする
型を全うしている
普段の生活の中で型を
しっかりと行っていることで
10の力が20、30に
→ そんな型がある(間取り)

- ▶ 昔は、親が間違えてたら隣近所のおじさん、おばさんが親を注意
- ▶ 三世代であれば多様性
- ▶ 地方では、贅沢なのは平屋
→ 平屋が建てられるということは、ゆったりとした土地がとれる
→ 二階建てにする必要がない
→ 平屋、各家が絶妙な位置(風があたる)
→ 地方は、同じ南向きでも微妙にずれている
: 角度がずれていることによって、コミュニケーションの場は確立させながら、最低限のプライバシーは確保

気の教室
明るく楽しく
→ 健康に暮らす
薬に頼らず、一切かからない
三世代楽しく
敬教させる楽しみ
蓄える楽しみ
↓
家族にもよってはまる
親 見返りを求めず愛を伝える

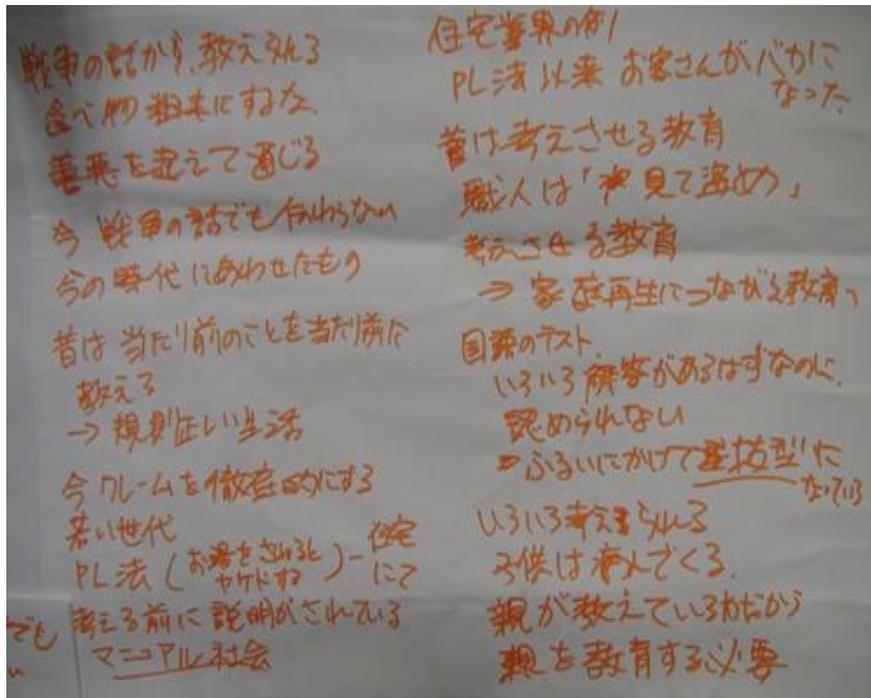
それができない時どうするか?
相手のことを考えられたい
者も直す?
リフト面でのように
ハード面でのように
今の人は働く場がない
余裕がなく 無駄
思いやりがない
今日明日に精いっぱい
昔は? 働く場があった
戦後すぐはひかた
ハリーにいたのは
戦前教育 → 倫理道徳
悪いことをしたらダメ

- ▶ 日本人は、型を大事にする
→ 普段の生活の中で型をしっかりと行っていることで、10の力が20、30に
- ▶ 気の教室: 三世代明るく、楽しく
- ▶ 薬に頼らず、健康に暮らす
- ▶ 今の人は、今日明日に精いっぱい余裕がない
- ▶ 昔の倫理道徳
- ▶ 戦争の話から教えられる
→ 食べ物を粗末にするな
→ 善悪を超えて通じる
→ 当たり前のことを当たり前で教える
→ 規則正しい生活

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



サザエさん(家庭)



▶住宅業界の例

- PL法以来、お客さんがバカになった
- 考えさせる教育: 家庭再生につながる教育

▶国語のテスト

- いろいろな解答があるはずなのに、認められない
- ふるいにかけて選択型になっている

▶明るく新しい家庭再生には

- 教育
 - : 認めることをしない、調整をしない、親を教育する必要
- 家屋
 - : 普段の生活の中でしっかり行うことで、空間・間取りの研究

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム
日本再生！総合特区～最初の一步～



日本再生！ 総合特区～最初的一步～



2010年10月23日(土)
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム